

町の社会福祉に大きく貢献

令和元年度熊本県社会福祉功労者表彰

「令和元年度熊本県社会福祉功労者表彰」で地域福祉や老人福祉センターの運営に携わり、町の社会福祉事業に大きく貢献されている尾田一広さんが受賞しました。

この表彰は、社会福祉の向上に著しい功績があり、他の模範となる人や団体の功績をたたえ表彰することにより、県民一人一人の社会福祉への理解と意識の高揚を図ることを目的に、毎年実施されているものです。



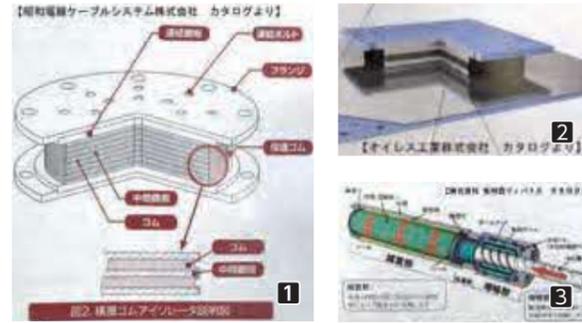
受賞された町社会福祉協議会の尾田一広さん

新庁舎の免震装置

新庁舎建設工事推進レポート

新庁舎は地下に基礎免震構造を採用しており、4月下旬に搬入予定です。免震装置を大きく分けると、建物を支える機能と揺れを伝えない機能、元に戻ろうとする機能を持つ「支承(アイソレータ)」と、揺れを吸収・収束させる機能を持つ「ダンパー」の2種類に分かれます。

新庁舎には3種類の「支承(アイソレータ)」と、1種類の「ダンパー」を使用します。地震時には積層ゴムが変形し、地面の揺れを軽減することで、被害を抑えます。



1積層ゴム支承 2弾性すべり支承 3減衰コマ型ダンパー

ベトナムと日本の郷土料理で交流

町国際交流協会が外国料理交流会を開催

外国料理国際交流会が2月23日、町生涯学習センターにて町国際交流協会の主催で行われ、同協会の会員など約40人が参加しました。

ベトナム料理は町在勤のウッドック・フンさんとティウィ・ゾオンさんを講師に迎え「パインセオ(ベトナム風お好み焼き)」と「揚げ春巻き」を調理。日本料理は、町食生活改善推進協議会が団子汁などを料理。参加者は両国の料理を堪能し、交流を深めました。



一緒に料理を作り交流を深めました

桜とつつじで商店街を彩る

駅南周辺地域活性化事業実行委員会

JR肥後大津駅南口近くの町道で3月13日に桜の植樹とつつじの苗植えが行われました。これは、駅周辺の活性化を目的に地元の商店街や商工会などで組織された駅南周辺地域活性化事業実行委員会が昨年度から進めている活動です。

今回はイオン大津店東側に桜が11本植樹されました。令和2年度はかぶとむし公園南側などさらに植樹を行う予定です。



ふれあい散歩道商店街会長岩永洋典さん、肥後大津駅周辺活性化事業実行委員会会長の西川秀真さん

防災速報アプリで情報発信

ヤフー(株)と災害協定締結

町は地震や台風、豪雨などの災害に備え、住民の皆さんに必要な情報を迅速に提供することを目的にヤフー(株)と災害に係る情報発信等に関する協定を結びました。

このアプリにより、最新情報の受け取りや避難所の確認が可能になります。またアプリをインストールしていれば観光客などの地元住民以外の人にも発信が可能になります。

初期設定の方法

- ①初期設定を始める
- ②現在地運動通知機能を設定する
移動先でも災害情報を受け取れます。利用する場合は「この機能を使う」をタップしてください。
- ③通知を受け取る地域を設定する
「地域を設定する」をタップして通知を受け取る地域を選びます。
- ④設定の完了
以上で初期設定は完了です。「始める」をタップしてください。

登録はこちらから



アプリのアイコン

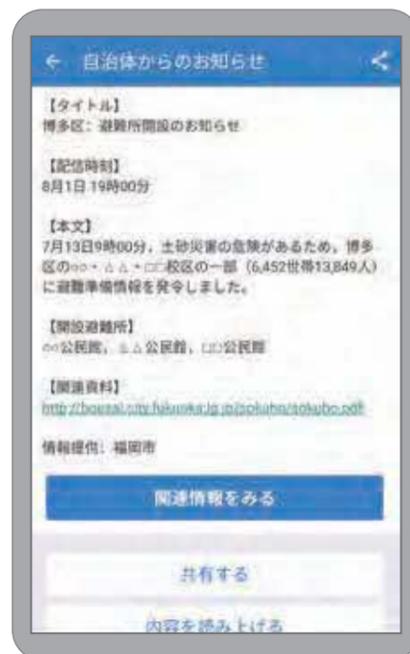


ios



android

自治体からのお知らせの例



災害公営住宅

災害公営住宅

緑ヶ丘区に災害公営住宅「町民グラウンド団地」が完成し、3月20日に鍵の引渡し式が行われました。これは、熊本地震で被災された人の生活再建の早期実現を目指して建設を進めてきたものです。町民グラウンド団地は鉄筋コンクリート3階建(計27戸)で23世帯が入居されます。これで町が整備する災害公営住宅4カ所計74戸が全て整備されました。



家入町長と入居者の皆さん(後ろが「町民グラウンド団地」)

復興への思いをつなぐ

高尾野地区サイクリングイベント

高尾野区みんなの家で3月15日、「RAPHÀ CARAVAN+FUKKŌツイト旅2020」が開催されました。これは、全国の災害被災地を元気づけようとイギリスの自転車製品会社Raphaと日本各地の災害被災地の復興イベントを手掛ける(一社)FUKKŌ DESIGNの共同で行ったものです。高尾野区を起点・終点として平成28年熊本地震被災地を参加者が自転車で回り、復興を肌で感じてもらう催しとなりました。



参加者は高尾野地区のもてなしを受け、自転車の旅を満喫しました